

Design Nippon *Lectures* 2009



2009 10/30 [fri]---11/3 [tue]

デザイナー&クリエイターによるレクチャー

Design Nippon Lectures 2009

会期：2009年10月30日（金） - 11月3日（火・祝）

会場：日経スペース NIO、K-Gallery、スペイン大使館ホール

■ 資 料 ■

■ DNLのヴィジョン ■

国内外で活躍するデザイナー&クリエイターによるレクチャーイベント

「Design Nippon Lectures2009 (でざいん にっぽん れくチャーず2009)」。

国内外の建築、インテリア、プロダクト、グラフィック、などあらゆる物作りのジャンルからプロフェッショナルが多角的な視点から各レクチャーを展開します

目的を持つデザインという行為が私達の日常に出来ることを考察する場の創出する為に、デザインのスーパースクールを目指す当イベントでは、現在活躍しているクリエイターの生のお話、考え方を聴く事で、デザインの新しい視点を得られることでしょう。

■ 今年のテーマ ■

“マテリアル (素材)”

全てのものづくりには、技術の発達と密に関わる「素材」によってつくられるものに変化があります。技術の発達があったからこそ可能となったものや、あえて使用する昔ながらの素材など、様々な視点からお話頂くことにより、聴講者は、デザインは、「表現」ではなく、技術などの時代性にも大きく関わる事を知ることが出来るものとなるはずという事で、このテーマを掲げました。また、日本経済新聞社で行われるイベントとリンクする形で「活字」をテーマに講演を行いました。

名称 : Design Nippon Lectures 2009 (でざいん にっぽん れくチャーず 2009)

会期 : 2009年10月30日 (金) -11月3日 (火・祝) (5日間)

テーマ : Material (まてりある)

主催 : デザインニッポンの会 / 株式会社 日本経済新聞社

後援 : 駐日英国大使館 / オランダ王国大使館 / スウェーデン大使館 / フィンランド大使館 /
フランス大使館 / ラトビア共和国大使館

協賛 : 欧州連合 (EU) 駐日欧州委員会代表部

協力 : スペイン大使館 / 株式会社K / DESIGN TIDE

会場 : ・10月30日 (金) ・11月2日 (月) 日経スペースNIO (日経ビル2F)

※「活字」をテーマに開催。

・10月30日 (金) ・31日 (土) ・11月1日 (日) ・3日 (火)

K-Gallery

・11月3日 (火・祝)

スペイン大使館

※ここのプログラムのみ無料となります

聴講料 : 1講演 ¥1,000円 (約1.5時間) 会員聴講無料

■ 会場について ■

会場は、日経スペースNIOを始め、期間中新作発表をしているK-Gallery、スペイン大使館。レクチャーの内、DESIGN TIDEと連動したプログラムも開催。東京のデザインイベントの連携を強め、活性化を狙いました。

<日経SPACE NIO (スペース ニオ) >

会場：東京本社ビル2階 (定員 80 名)

住所：〒100-8066 東京都千代田区大手町 1-3-7 日本経済新聞社
東京本社ビル 2 階

お問い合わせ：03-6256-7682

<http://www.nikkeinio.com/index.html>

■会場で開催中のイベント■

『タイポロジック文字で遊ぶ、探る、創る展覧会』展

2009年10月16日(金)~12月18日(金) 土日祝休館

(但し、10月17日(土)、11月7日(土)、12月5日(土)のイベント開催時は開館)

会場：SPACE NIO イベントスペース

入場無料



<K Gallery>

会場：黒川雅之設計事務所内 (定員50 名)

住所：〒106-0031 東京都港区西麻布3-13-15

お問い合わせ：03-3746-3605

URL: http://www.k-system.net/pdf_k/k_rental_gallery_01.pdf

■会場で開催中のイベント■

『K-新作発表会』 (予定)

期間未定 入場無料



<スペイン大使館・カンファレンスルーム>

会場：スペイン大使館内

住所：〒106-0032 東京都港区六本木1-3-29

<http://www2.gol.com/users/esptokio>

■ 印刷物について ■

ポスター (B1) 10枚
DM (A5) 10,000枚



※ポスターイメージ

主な配布先
学校
美術館・関連施設
企業(協力企業等)
関係施設



※DMイメージ



■ Web・印刷物用ロゴ ■



■ インビテーション ■



※プリントアウトをお持ち頂いた方無料招待。

■ Web告知 ■



■会場風景写真■



■ご協力講師陣■

10月30日(金)

<日経スペースNIO>

- 14:15-15:45 Kokoro&Moi (デザインエージェンシー/フィンランド)
- 16:30-18:30 菊地敦己 (株式会社ブルーマーク/アートディレクター)
× 落合崇 (GRAPH inc./プリンティングディレクター)

<K-Garrelly>

- 10:30-12:30 Guy Oliver / James Charles / 澤山乃莉子
(インテリアデザイナー / 駐日英国大使館・英国インテリアデザイン協会後援)
- 13:15-15:15 Miriam Van der Lubbe / Bertjan Pot (プロダクトデザイナー/オランダ)
- 15:45-17:15 黒川雅之 (建築家・プロダクトデザイナー)

10月31日(土) <K-Garrelly>

- 11:00-12:30 藤本壮介 (建築家)
- 12:50-14:00 大野博史 (構造家) ×谷尻誠 (建築家) <DESIGN TIDE プレゼンツレクチャー>
- 14:30-16:00 松井龍哉 (フラワー・ロボティクス代表/ロボットデザイナー)
- 16:30-18:00 小川広次 (建築家)

11月1日(日) <K-Garrelly>

- 10:30-12:00 高取邦和 (インテリアデザイナー)
- 12:30-14:00 中坊壮介 (プロダクトデザイナー) <DESIGN TIDE プレゼンツレクチャー>
- 14:30-16:00 Nitpak Samsen (デザイナー・タイ) <DESIGN TIDE プレゼンツレクチャー>
- 16:30-18:00 今野絢 (アド・コムグループ取締役/クリエイティブディレクター)

11月2日(月) <日経スペースNIO>

- 12:00-13:30 松下計 (グラフィックデザイナー・日本)
- 14:15-15:45 天野和俊 (グラフィックデザイナー)
×内田芳嗣 (株式会社山櫻/広報室室長) ×中村明久 (中村活字店/店主)
- 16:30-18:00 田中良治 (Semitransparent Design)

11月3日(火・祝)

<K-Garrelly>

- 12:30-14:00 Benjamin Grandorge (プロダクトデザイナー・フランス)
 - 14:30-16:30 Laima Kaugure, Ivo Urbanovics, Katrine Riekstin (テキスタイル・ラトビア)
 - 17:00-18:30 Defyra (デザイングループ・スウェーデン)
- <スペイン大使館> ※聴講無料講座
- 15:30-17:00 Ignacio Germade, Roger Arquer, Nacho Carbonell, Xavier Manosa, Ana Segovia (スペイン)

■Design Nippon Lectures 2009 講演者プロフィール■

10月30日 (金)

Kokoro & Moi (デザインエージェンシー)

ブランドアイデンティティ及びブランドデベロップメント、クリエイティブディレクション、アートディレクション、グラフィックデザインそしてインタラクティブデザインを専門とする、分野横断的なデザインエージェンシー。思いがけない組み合わせを活用することから、現代の全てのメディアへの先進的で印象的なアプローチで名声を集める。DESIGN FORUM FINLAND が年に一度、最も有望な若手クリエイターにおくる YOUNG DESIGNER OF THE YEAR PRIZE を 2005 年にグラフィックデザイナーとして初めて受賞。

クライアントは様々で、NOKIA、Puma,そしてユニクロなどの多国籍ブランドから、Escalator Records などの小さなブランド、そして Design Forum Finland などの公共文化機関など幅広い。

彼らの作品は近年New York Design Week(2008)、Vallery gallery(バルセロナ、2007)、Victoria&Albert museum(ロンドン2005)、Sonar Festival (バルセロナ、2002) などのイベントで展示された。

www.kokoromot.com



菊地敦己 (アートディレクター / デザイナー)

1974 年東京都生まれ。武蔵野美術大学彫刻科中退。95 年在学中にデザインの仕事を始め、97 ~ 98 年「スタジオ食堂」のプロデューサーとして現代美術のオルタナティブ・スペースの運営、展覧会企画などを手掛ける。2000 年デザインファーム「ブルーマーク」を設立。主な仕事に、青森県立美術館のVI 計画、横浜トリエンナーレ2008 のVI 計画、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館の展覧会広告デザイン、ミナ ペルホネン、サリー・スコットのブランド計画、雑誌『「旬」がまるごと』のアートディレクション、矢野顕子のCD ジャケットのデザインなど。

JAGDA 新人賞、東京ADC 賞、ニューヨークTDC 賞など受賞多数。著書に作品集『PLAY』(誠文堂新光社)、『家紋帳』(ピエ・ブックス)など。東北芸術工科大学客員教授。

www.bluemark.co.jp

Guy Oliver / James Charles / 澤山乃莉子

(インテリアデザイナー / 駐日英国大使館・英国インテリアデザイン協会後援)

MC. 澤山乃莉子様 NSDA Ltd 代表 「英国インテリアデザインにおける素材の意義」

Guy Oliver - イギリス

「英国インテリアビジネスの第一線のデザイナーとして。

Traditional Arts (Prince Charles Foundation) への係わり」

ハイクオリティーなトラディショナルスタイルをベースにした独自のスタイルで、首相官邸(Downing 10)、宮殿や大使館、そしてホテルなどを含む 歴史的建造物のインテリアデザインから、モダンアパートメント、ラグジュリアスなヨットや飛行機に至るまで 手掛けたプロジェクトは多岐に亘る。世界各国に多くのクライアントを抱える。チャリティ団体である UK Pattern Archire の代表としても活動するとともに、各教育機関でのレクチャー、メディア媒体への寄稿等 幅広く活躍している。最近のプロジェクトでは、ロンドンの5つ星ホテル、コンノートの改装が上げられ、David Collinsと共にデザインを手掛けて大きな話題を呼んだ。

www.oliverlaws.com

James Charles, James Charles Design Inc – イギリス

「英国インテリアデザイナーが世界市場で活躍できる理由」

ロンドン、ロサンゼルスにオフィスを構え25年以上のキャリアを持つ。ピバリーヒルズ・デコレーティング・コンテストや プリティッシュ・インテリア・デザイナーなどで数々の賞を受賞。現在は、英国、アメリカともに高級住宅のデザインや、ラスベガスのコンテンポラリーレストランのデザインを行っており、最先端のエアクラフト ボーイング787のデザインチームの1人としても活躍している。

www.jamescharlesdesign.com



Miriam Van der Lubbe (+Niels Van Eijk) - オランダ

価値あるのは、受け継がれる職人芸。労働賃金の安さからインドネシアで生産されるプロダクツが多いなか、ヨーロッパの人では決してできない、インドネシアの職人でしか作れない技術を引き出す家具。



Bertjan Pot - オランダ

これまでMoooiからRandom LightやCarbon Chairを発表してきたBertjan Pot。彼にとって大切なのは、見る人にファンタジーを与えたり、きらめきを与えること。そのために最新技術を使う必要は必ずしもないのです。今ある技術をどうしたら最大限に生かすことができるか。照明器具はエコロジカルという点からLEDが注目されていますが、LEDの光の色は単調で従来の電球がだす色の温かみができません。また電球は、その6割が光源として、あとの4割は熱となります。その熱も有効に使うために考えたのが、Revolving chandelier。熱を動力にして照明のシェードを回転させることで、電球の光、熱を余すところなく使うこととなります。回るシャンデリアのシェードはミラー効果で幻想的でもあります。将来、すべての光源がLEDに代わってしまう前、今だから必要なデザインの提案です。



黒川雅之 (建築家)

1937年4月4日、愛知県名古屋市生まれ

(株)黒川雅之建築設計事務所・主宰

(株)デザイントープ・主宰 (<http://www.designtope.net/>)

物学研究会・代表 (<http://www.k-system.net/butsugaku/index.html>)

1961年、名古屋工業大学建築学科卒業。

1963年、早稲田大学大学院理工学研究科建築工学修士。

1967年、同大学博士課程修了。黒川雅之建築設計事務所設立

2001年、株式会社デザイントープ設立

建築家・プロダクトデザイナー

金沢美術工芸大学美術工芸研究科教授

日本建築学会会員

新日本建築家協会会員

日本デザインコミッティー会員

日本文化デザインフォーラム会員 (JIDF)

日本インダストリアルデザイナー協会会員 (JIDA)

10月31日(土)

藤本 壮介 (建築家)

北海道生まれ

1994 東京大学工学部建築学科卒業

2000 藤本壮介建築設計事務所設立

京都大学・東京理科大学・昭和女子大学非常勤講師

日本建築大賞、AR AWARD 大賞(英)をはじめ国内外で多数受賞。

2007 武蔵野美術大学図書館設計プロポーザル 最優秀賞

2007 KENNETH F. BROWN ARCHITECTURE DESIGNAWARD 入選(アメリカ)

2006 AR AWARDS 2006 大賞(情緒障害児短期治療施設)(イギリス)

AR AWARDS 2006 優秀賞(7/2 house)(イギリス)

平成18年東京建築士会住宅建築賞 金賞(T house)

2005 くまもとアートポリス設計競技2005:次世代モクバン 最優秀賞

AR AWARDS 2005 入賞(伊達の援護寮・T house)(イギリス)

2004 JIA新人賞2004(伊達の援護寮)

2003 安中環境アートフォーラム国際設計競技 最優秀賞

2000 青森県立美術館設計競技 優秀賞

<http://www.sou-fujimoto.com/>



谷尻 誠 (建築家)

1974年、広島県生まれ。2000年suppose design office設立。

住宅、商業空間、会場構成、ランドスケープ、プロダクトと、仕事の範囲は多岐に渡る。2008年より、広島・東京の二カ所を拠点とし、国内外合わせ現在多数のプロジェクトが進行中。

www.suppose.jp/



大野 博 (構造家)

1974年、大分県生まれ。1997年日本大学理工学部卒業。98年、ユーゴスラビア

ENERGOPROJEKT海外研修、00年、日本大学大学院理工学研究科修士課程を修了、00年～04年、池田昌弘建築研究所の勤務を経て05年にオーノJAPANを設立。

<http://www.ohno-japan.com>



松井 龍哉 (まつい たつや)

ロボットデザイナー/フラワー・ロボティクス 株式会社 代表取締役

1969年東京生まれ。91年日本大学芸術学部卒。丹下健三・都市・建築設計研究所を経て渡仏。科学技術振興事業団研究員を経て、2001年フラワー・ロボティクス(株)設立。ヒューマノイドロボット「Posy」等の研究開発に注力。09年、商用マネキン型ロボット「Palette」の量産開発に成功し販売事業開始。「Palette」は09年度グッドデザイン賞受賞。トータル

デザインした航空会社スターフライヤーは07年「新日本様式百選」に選ばれる。近作にダンヒル銀座本店店舗設計、アロマディフューザー「ECRIT」のデザイン。最新のロボットはKDDIのiidaブランドから2009年9月に発表された「Polaris」。早稲田大学理工学部非常勤講師。日本大学芸術学部非常勤講師。日本産業デザイン振興会Gマーク審査員。 <http://www.flower-robotics.com/>

小川広次 (建築家)

「デザインのリアリズム/表現と技術」



1960年 東京に生まれる
1982年 日本大学工学部建築学科卒業
1982~83年 (株) 計画・設計工房
1983~92年 (株) 谷口建築設計研究所
1991年 (株) 小川広次建築設計事務所 代表取締役
2006年 日本大学工学部建築学科 非常勤講師
2007年 法政大学工学部建築学科 非常勤講師

受賞

1982年 レモン賞 日本大学より卒業設計において優秀作品賞
2001年 東京ガス賞「あたたかな住空間デザイン」コンペティション
2004年 東京建築賞東京都知事賞 第30回建築作品コンクール
2004年 東京建築賞戸建住宅部門優秀賞 第30回建築作品コンクール
2006年 第22回吉岡賞、グッドデザイン賞

<http://www.koaa.co.jp/>

11月1日 (日)



高取邦和 (インテリアデザイナー)

「茶銀座をもとに素材・質感・人間観へのテーマを考える」

1970年 東京藝術大学美術学部卒
1970年 スーパーポテト共同設立
1978年 高取空間計画設立

大光電気・顧問、LDヤマギワ顧問、カルバンクラインデザイン顧問、
モビリアインテリアカレッジ講師、多摩美術大学非常勤講師、広島工業大学非常勤講師



中坊壮介 (プロダクトデザイナー)

1972年京都生まれ。2002年Royal College of ArtのDesign Products科修了。

松下冷機(株)、(株)良品計画を経て
現在ジャスパー・モリソンのロンドンオフィス勤務。



Nitipak Samsen(dotmancando) (デザイナー・タイ)

Nitipak Samsen (dotmancando)

建築家を経て、ロイヤル・カレッジ・オブ・アーツのデザイン・インタラクション科を卒業。
シリアスな内容をユニークな発想で転換し、デザインに落とし込んだ作品を発表している。

Royal College of Art : MA Design interactions (2007-)Silpakorn University : B.Arch
Bachelor of Architecture (1996-2000) RCA Sustainability Showcase、Conran Foundation Awards
2009 に作品「BuyProduct」がノミネートされる。(2009)

今野 絢 (デザイナー)

アドコム・グループ 取締役クリエイティブ・ディレクター

イラストレーター兼デザイナーとして渡英。クライアントにハロッズ、セルフリッジズ、プリティッシュ、ペトリール、IBM 等。また、エリック・クラプトンの CD ジャケット、ロンドンのクラブ・レジェンズに作品 60 点提供などクリエイターとしても活動。8 年後帰国。ダンネンバーグのアド・メディア創立を助け現在取締役クリエイティブ・ディレクターとして製作全般に従事。

趣味は茶道 (裏千家上級免状)、居合道 (田宮流 3 段) 等日本の美意識の探求とロード・レーサーで京都から東京 450km 4 日間、東京から仙台 360km 3 日間等、ロングライド長距離自転車旅を楽しんでいます。

11月2日 (月)



松下 計 (グラフィックデザイナー)

1961 年横浜生まれ。東京藝術大学美術学部デザイン科卒業。同大学院修了後、松下計デザイン室設立。現在、同大学デザイン科准教授。AGI 会員。

主な仕事に、竹尾ペーパーショウ2005総合ディレクション、ドイツ・ハノーバー国際万国博覧会日本館シンボルマークおよびロゴデザイン、ホルベイン工業および東京藝術大学による共同開発油絵の具「油一」ブランディング、21_21 DESIGN SIGHT企画展カタログディレクション、WA：現代日本のデザインと調和の精神 告知物およびカタログデザイン、資生堂・サントリーの商品デザイン展総合ディレクション、竹尾ペーパーショウ2009アートディレクションなどがある。JAGDA新人賞、ADC賞、文部科学大臣賞、グッドデザイン賞受賞。

天野和俊 (グラフィックデザイナー) × 内田芳嗣 (株式会社山櫻 / 広報室室長)

× 中村明久 (中村活字店 / 店主)

講演タイトル「感じる、活字名刺。」

天野和俊 / あまのかずとし

グラフィックデザイナー 有限会社天野和俊デザイン事務所代表

1970 年生まれ。多摩美術大学グラフィックデザイン科卒業。広告代理店、株式会社佐藤卓デザイン事務所を経て、2000 年独立。商品デザインをはじめグラフィックデザイン全般の仕事に携わる。2005 年に一時休業しアイルランド滞在。2006 年に帰国、活動を再開。それ以降、時間を経ても変わらない魅力をもつ活字名刺を愛用している。

<http://www.kadltd.jp>

中村明久 / なかむらあきひさ 「活版工房」発起人 株式会社中村活字店店主

来年で創立 100 周年を迎える中村活字は銀座の小さな活字店。数ある活字店の中でいち早くウェブサイトを立ち上げ、現在の活字ムーブメントの起点ともいわれる。現在では全国各地から職業を問わず、大衆的でおおらかな人柄の店主を慕い集まってくる。人呼んで「活版印刷伝道師」。

<http://www.nakamura-katsuji.com/>

内田芳嗣 / うちだよしつぐ 「活版工房」フェロー 株式会社山櫻広報室室長

1970 年生まれ。アイルランド大使館などをクライアントとする広告代理店を経て、2001 年より山櫻。同社は名刺台紙や封筒などの紙製品を扱う最大手メーカーであるが、一方で「『もの』づくり」「『街』づくり」をキーワードに、活字店や和紙職人などとの繋がりも持ち、スポークスマン的な活動を行っている。



田中良治 (Semitransparent Design)

「ウェブから生まれるタイポグラフィ。」

1975年、三重県生まれ。同志社大学工学部/岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー [IAMAS] 卒業。株式会社イメージソースを経て、2004年、株式会社セミトランスペアレント・デザインを設立。ネットワークとリアルスペースを連動した独自のデザイン手法を開拓し、カンヌ国際広告祭、クリオ賞、One Show、New York ADC、D&ADなどの広告賞を多数受賞。また2008年、NTTインターコミュニケーション・センター [ICC] でのインスタレーションの展示、2009年、山口情報芸術センター[YCAM]での個展(2010年1月10日まで)など、その表現領域を広げている。

<http://www.semitransparentdesign.com/>

11月3日(火・祝)



Benjamin Grandorge (プロダクトデザイナー・フランス)

1980年生まれ。バンジャンマン・グランドルジュは、工業デザインをフランス国立工業デザイン高等学院(E.N.S.C.I.)/パリのアトリエで学び、卒業プロジェクトに対して、審査委員会の特別評価を受けて、2006年3月に卒業。その後、ブルーレック兄弟やラディ・デザイナー、マチュー・ルアナー、エリック・ジョーダンなどのデザイナーと組んだ、共同制作もしている。これらの、実際に生活で使われるもののデザイン制作と同時に、個人的な研究も続けていて、数々のコンクールに受かっている。(ヴィラ・ノアイユ、VIA、Audi Talents AwardsやCinna jeunes talents等)6ヶ月の滞在を得たヴィラ九条山(京都)では、今までの自分の工業デザイナーとしての教養に、日本の豊かな美的感覚と、職人技やテクノロジーを取り込みたいと思っている。

Laima Kaugure, Ivo Urbanovics, Katrine Riekstina (ラトビア)



Laima Kaugur ライマ・カウグレ(スタジオナチュラルス代表・デザイナー)

スタジオ・ナチュラルスは、漂白・染色した天然のリネン繊維を使い、伝統的な織物技法をよみがえらせました。透けた感じの軽い生地や、厚く目の詰まった、現代インテリアの生地のコレクションを毎シーズン発表しています。繊細さと素朴さが魅力的で、多くの評価をいただいているリネン製品のデザインは、ラトビア(海外の要人は必ず弊社を訪問します)をはじめとするヨーロッパやアジア、アメリカ、オーストラリアなどのお客様に愛されてきました。環境への配慮とシンプルなデザインは、日本の皆様の高い美的感覚にも合い、特に親しんでいただいております。



Defyra (デザイングループ・スウェーデン)

DEFYRAは全てのプロジェクトに共同で取り組むデザイングループ。グループを構成するのは4人のメンバー、Lena Thak Karlsson、Anna Lang、Sanna HaverinenそしてAnna Hjert。2002年に活動をスタートしてから、DEFYRAは日本、英国、イタリア、ドイツ、米国、韓国での国際的イベントを中心に、数々の展覧会に参加。スウェーデンを代表するデザイナーである。また、2003年に東京で行われたSwedish Styleではキュレーターを務めた。

DEFYRAの製作手法は通常、始めに対話を重ね、その後実行に移すというもの。たとえ最終的に出来上がったものが家庭用のインテリアプロダクトであろうと、公共空間向けの大きなインテリア装飾であったとしても、作品

を発表する際には、空間を作り上げ、対話的なインスタレーションの形式で発表することが多い。メンバーはスウェーデンのストックホルムに彼らの拠点を持っている。ストックホルム郊外に大型スクリーンプリントスタジオ、そしてKungsholmen(地名)にショップとショールームがある。DEFYRAはwallpaper Kinobori(ウォールペーパー キノボリ)、ski stool Speed Woodそして数々のスクリーンプリントのテキスタイルなどの、数々のプロダクトを製作している。

彼らはまた、インテリアだけでなく陶器、そしてグラフィックデザインの仕事も受けている。

**Ignacio Germade, Roger Arquer, Nacho Carbonell,
Xavier Manosa, Ana Segovia (スペイン)**



Ignacio Germade,

Ignacio has been working as a designer and creative director for the last 20 years and is the co-owner of the London-based design house Lovely&co. Ignacio has been a senior design director for Motorola in London, India and Singapore and has run design studios for several multinational firms, creating solutions for companies like Motorola, Xerox, Polaroid, Fila and IBM. He has received several design awards such as the IDSA Design Excellence Award, ID Interactive Media Award and i-D Magazine Award and has lectured at leading design schools including the Rhode Island School of Design, the Massachusetts Art Institute and the Art Institute of Boston.